

政務活動費収支報告書

令和 5年 4月 11日

島田市議会議長 大石 節雄 様

議員氏名 井上 篤

令和 4年度の政務活動費について、次のとおり報告します。

収入の部

単位：円

項目	決算額	摘要
政務活動費交付金	200,000	
計	200,000	

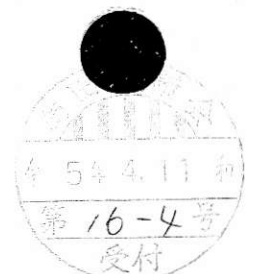
支出の部

単位：円

項目	決算額	摘要
調査研究費	0	
研修費	37,920	全国市議会議長会研究 フォーラム参加費
広報費	0	
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
その他の経費	18,700	備品購入
計	56,620	

政務活動費残額 143,380 円

※ 調査研究その他の活動の概要及び領収書を添付してください。



## 政務活動費支出決算額明細書

項目	支出明細	金額	領収書貼付 用紙の番号
研修費		37,920 円	
	第17回全国市議会議長会研修 フォーラムin長野 (R4.10.19~20)	37,920	
	・旅費	22,920	1
	・宿泊代	6,000	2
	・参加費	9,000	3
その他の経費		18,700 円	
	ICレコーダー	18,700	4
計		56,620 円	

	議 長	副議長	事務局長	次 長	係 長	担 当
決 裁	●	●	●	●		●

領収書貼付 用紙の番号	1
----------------	---

政務活動出張申請書

令和 4年 9月 30日

島田市議会議長 大石 節 雄 様

島田市議会議員 井上 篤

市政調査研究（調査研究・研修）のため、下記に出張をいたたく届け出ます。

出張年月日	令和4年10月19日（水） から 10月20日（木）まで
出張先	全国市議会議長会 研究フォーラム 長野県長野市若里1丁目1-3 ホクト文化ホール（長野県民文化会館）
出張の目的	全国市議会議長会主催の研究フォーラムへの参加 第1日目 第1部 基調講演 「コロナ後の地域経済」 第2部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の意義と課題」 第2日目 第4部 課題討議 「地方議会のデジタル化の取組報告」  ※第3部 意見交換会は中止、第5部 視察は不参加
行程・利用交通 (交通手段の理由)	別紙の行程表（交通費計算書）による。
旅費	別紙 政務活動出張旅費支出伝票による

	議長	副議長	事務局長	次長	係長	担当
決裁			●	●		●

領収書添付 用紙の番号	
----------------	--

**政 務 活 動 出 張 旅 費 支 出 伝 票**

出張日	令和 4 年 10 月 19 日 ~ 令和 4 年 10 月 20 日			
出張先	長野県長野市 ホクト文化ホール			
旅費	交通費	宿泊費	日当	参加者負担金等
下記計算の 基礎参照	22,920円			
			計	22,920円

計算の基礎

旅程	六合 ~ 掛川 ~ 名古屋 ~ 長野 ~ 名古屋 ~		合計	823.8 km
鉄道運賃	※601キロ以上は往復割引適用(同一経路のみ)、地下鉄等は2キロ以上から ↓片道キロ数			
	六合 ~ 長野	( 411.9 km )	往復	13,860 円
		( km )	往復	円
		( km )	往復	円
		( km )	往復	円
			計	13,860 円
加算運賃 (JR北海道、四国、九州)		km		円
			<b>鉄 道 運 賃 計</b>	13,860 円
特急料金等	※乗継割引利用な場合は利用、座席指定の可否確認、片道キロ数確認			
新幹線	掛川 ~ 名古屋	( 136.7 km )	往復	6,120 円
在来線特急	名古屋 ~ 長野	(250.8 km)	往復	2,940 円
在来線急行		( km )	往復	円
座席指定料金		( km )	往復	円
車賃(バス・タクシー)		( km )	往復	円
航空賃、船賃			往復	円
	<b>交 通 費 合 計</b>			22,920 円
宿泊料	@13,100 × 泊			円
日当	@2,600 × 日 + @1,300 × 日			円
	↓日当の調整がある場合は、理由を記載すること ( )			
その他				円
	<b>旅 費 合 計</b>			22,920 円

六合

(掛川)

## 六合 → ホクト文化ホール

2022/10/19(水) 12:30

06:17発 → (11:13)着 総額 11,460円  
 所要時間 4時間56分 乗車時間 4時間11分 乗換 2回 距離 412.7km

	経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	○ 六合				
06:17-06:38 21分	JR 東海道本線(東海)(浜松行)	やや前・やや後	6,930円		24.4km
乗換5分 待ち13分	○ 掛川	3番線着			
06:56-07:47 51分	新 こだま765号(N700系) (新大阪行)	6・8・10・12号車	↓	指定席 3,060円	136.7km
乗換7分 待ち6分	○ 名古屋 [当駅始発]	16番線着 10番線発			
08:00-10:59 179分	特 しなの3号(長野行)		↓	指定席 1,470円	250.8km
	○ 長野	2番線着			
(10:59)- (11:13) 14分	歩 徒歩				0.8km
	○ ホクト文化ホール				

## 記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

( ) … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。

# ホクト文化ホール → 六合

2022/10/19(水) 15:00 出発

(15:46)発 → 21:08着 総額 11,460円  
 所要時間 5時間22分 乗車時間 4時間27分 乗換 2回 距離 412.7km

	経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	○ ホクト文化ホール				
(15:46)- (16:00) 14分	歩 徒歩				0.8km
	○ 長野	[当駅始発] 6番線発			
16:00-19:07 187分	特 しなの20号(名古屋行)	やや前・後	6,930円	指定席 1,470円	250.8km
乗換7分 待ち24分	○ 名古屋	[当駅始発] 10番線着 15番線発			
19:38-20:36 58分	新 こだま750号(N700系) (東京行)	6・8号車	↓	指定席 3,060円	136.7km
乗換5分 待ち5分	○ 掛川	2番線発			
20:46-21:08 22分	JR 東海道本線(東海)(三 島行)		↓		24.4km
	○ 六合				

## 記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

( ) … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。

## 領 収 書 等

項 目	研修費		
支出明細	宿泊費	領収書貼付 用紙の番号	2

2022/10/19

領 収 証  
井上 篤 様

宿泊代 ￥6,000  
到着日:2022/10/19 出発日:2022/10/20

---

小計 ￥6,000  
(内消費税 ￥545)  
(10%対象 ￥6,000 消費税 ￥545)  
(8%対象 ￥0 消費税 ￥0)

---

合計 ￥6,000

クレジットカード ￥6,000  
\*は軽減税率適用

アパホテル<長野>  
〒380-0821  
長野県長野市大字鶴賀上千歳町1177-3  
TEL:026-217-6131  
FAX:026-217-6171

担当者



収入印紙

221019000084093

## 領 収 書 等

項 目	研修費		
支出明細	参加費	領収書貼付 用紙の番号	3
別紙			



W000315

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年10月31日

島田市議会 井上篤 様

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水 富 雄

東京都千代田区平河町2-4-1

金 9,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催（長野市）

## 領 収 書 等

項 目	その他の経費		
支出明細	ICレコーダー	領収書貼付 用紙の番号	4
別紙			

# Nojima

www.nojima.co.jp

## 領 収 書

井上 篤 様

¥18,700

(内消費税等 ¥1,700)  
内訳 電子マネー ¥18,700

但

2023年02月28日(火)

株式会社ノジマ 0547-33-7811



お困りごとはWEBで  
解決できます！随時  
更新中！

ノジマ サポート



お買上げ日 2023年02月28日 17:02  
ご購入店 島田  
TEL 0547-33-7811  
販売員 024703<007397> 川井健太郎  
ご購入店 093 伝票No. 086831

1 07 ICレコーダー  
ICDUX575F BC 4548736100145  
18,700 × 1 内 18,700  
軽 印は軽減税率(8%)適用商品(内税)

税込価格計 ¥18,700

税別本体価格計(10.0%) ¥17,000  
消費税(10.0%) ¥1,700

合 計 ¥18,700  
電子マネー(端末) ¥18,700

レシート番号: J230228093086831



このレシートを保証書に貼って一緒に  
保管ください。

### 一緒に働きませんか

## スタッフ募集!

学生・地域の方  
大歓迎!

時給 **1,500円**  
スタート!



ノジマバイト Qで検索!

調査研究報告書

令和 5年 4月 11日

島田市議会議長 大石 節雄 様

島田市議會議員 井上 篤

令和 4年度の調査研究テーマに基づく活動等について、次のとおり報告します

1. 子育て支援及び、教育環境の整備充実を推進する。  
こども館の一時託児事業について調査をし、申し込み時の仕様がWeb上とこども館とで食い違う点を一般質問で質疑し、修正して貰った。また、放課後児童クラブの特機児童の問題も会派代表質問を行った。
2. 高齢者・障がい者も安心して暮らせるまちづくりを推進する。  
いきいきクラブや、障がい者福祉施設で意見を聞いた。次年度以降も引き続き調査していく。
3. 生活環境の充実で快適に暮らせるまちづくりを推進する。  
市民の皆様から、日々の暮らして市に求めることなどを聞いた。中学生の自転車通学の現状についての不満の声を聴き、中学校の教頭に現状を伺ったり調査をしている。次年度以降の質問につなげたい。
4. 歴史と文化を活かし、自然と環境を大切にすまちづくりを推進する  
全国市議会議長会研究フォーラム in 長野で長野県に視察にいった際、立ち寄った小布施の歴史ある街並みを視察して、川越街道の将来像に対する参考になった。川越街道が観光地として発展するように、今後調査を活かしていく。
5. 地場産業と地域経済の振興を推進する  
引き続き調査をしていく。
6. 健康増進・感染予防対策を推進する  
全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の研修において、議会のデジタル化について学んだ。感染症などで、議会に集まることが出来ない不測の事態でも対応ができるよう、全国の取り組みを研修した。島田市でも、DXを推進していきたい。
7. 防災・減災対策で安全、安心なまちづくりを推進する  
当市においても、台風15号で大きな被害を受けた。被災地を回りその現状を視察した。委員会において、復旧状況などを質疑にかした。
8. 中山間地域の持続的発展計画を推進する

視察において、バイオマスの先進地域を視察する予定を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で視察を行うことが出来なかった。次年度以降につなげていきたい。

# 報 告 書

令和 4年11月14日

島田市議会議長 大石 節雄 様

島田市議会議員 井上 篤

市政調査研究（研修）のため、出張したので報告します。

出張年月日	令和 4年10月19日 から 令和 4年10月20日まで
1 調査研究 出張先及び 調査項目 2 研修 研修名、出張先及 び主催者	<研修名> 第17回全国市議会議長会研究フォーラムin長野 ーデジタルが開く地方議会の未来ー 参加 <出張先> ホクト文化ホール（長野市若里1丁目1-3） <主催者> 全国市議会議長会
報告事項	別紙のとおり

## 第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

1. 日時 令和4年10月19日13:00～令和4年10月20日11:00
2. 会場 ホクト文化ホール（長野市若里1丁目1-3）
3. テーマ デジタルが開く地方議会の未来
4. 概要 フォーラムは3部構成となっており、第1部基調講演、第2部パネルディスカッション、第3部課題討議となっており、テーマに沿った報告、討議が行われた。

### 4. 第1部基調講演について

#### 1) 講師 富山 和彦

株式会社 経営共創基盤 (IGPI) グループ会長、  
株式会社 日本共創プラットフォーム (JPiX) 代表取締役社長、他

#### 2) テーマ 「コロナ後の地域経済」

- 3) 内容 コロナ禍による経済危機について、これまでの世界経済危機による視点からの説明。経済危機は古くは、1920sアメリカの大恐慌、1991日本のバブル経済崩壊、1997アジア通貨危機、2000ITバブル崩壊、2008リーマンショック、2009欧州債務危機など、特に1990sから増えている。これは世界経済のグローバル化の進行と共に相互依存が増加し、今後も起きることが予想される。相互依存の脆さに対応するためには、地域の経済がしっかりとることが重要である。地域経済の重要であるもう一つの要素は、地域経済が不振と言われるが、統計上の経済成長を見ると東京は常にワースト10に入っている。これは、グローバル企業が低成長であることが原因である。成長しているのは、観光や農業が強い地域が成長をしている。日本のグローバル企業がなぜ、儲からないのか。一つは、製造業において人件費の安い国家との競争。もう一つは、デジタル革命により電器産業が不振に陥ったこと、製品の良し悪しより、Web配信等のコンテンツの重要性が増し商品としての付加価値をIT企業にもっていかれたことが理由である。グローバル化が進行した中、日本経済を牽引していくためには、地域経済が主役として引っ張っていく必要がある。

地域経済が成長するための問題点、労働生産性の低さであり、それによる賃金の低さが問題である。労働生産が低い産業の方が人手の必要があり雇用の受け皿と

なっていた面もあるが、団塊の世代の退職が進んできた現在、人手不足が深刻化している。現在コロナ禍の経済危機のため、それが見えなくなっているが、コロナ禍が明け、経済が活発化すると人手不足の問題が深刻化する。外国人労働者も、感染症の問題から受け入れが以前よりは難しく、円安により海外に比べて日本での労働の魅力が無くなっているのも問題であり、解決していくためには労働生産性を高めていくしかない。限界に近いまで、生産性を上げたグローバル企業に比べて、元々の労働生産性の低い地域経済は、労働生産性を高める余地がある。

以下、労働生産性を高める自社企業の取り組みを紹介。

#### 4) 講演を聞いて

当市でも、少子高齢化人口減少社会に突入している現在、労働生産性を高め地域経済を活性化していく必要がある。講演の中では、観光、公共交通の会社の取り組み事例が主に紹介されていたが、当市でも路線バスの収支は大きな問題であり、改善の余地がある。講演の中で述べられていたように、赤字路線を補助金で運営する体制から、収支を改善するために、データを分析する必要がある。その為に、当市でも乗り降りをICカードで把握や、運転記録、ドライブレコーダーによるデジタルデータを集め、一つ一つ改善できる点を洗い出し路線や時間帯を見直して赤字幅の減少、黒字化を目指していく必要がある。

また、公共交通以外でも、デジタルデータを入手し分析していくことは、当市が所有する施設にも当てはめることが出来る。例えば、ばらの丘公園や博物館など収支が悪い施設のデータを分析し、改善していくことで施設の利用率を上げていくことなどが考えられる。民営と違い、公営施設はコストや収支に対する意識が低い、赤字前提の公共サービスにおいても、サービスの改善、コストの低減はこれからの人口減少社会において重要となり、そのために初期投資は必要となってもデジタル化を推し進めていかなければならない。

### 5. 第二部パネルディスカッションについて

#### 1) コーディネーター 人羅 格

毎日新聞社論説委員

#### 2) パネリスト

岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授

榎原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授

湯浅 壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

寺沢 さゆり 長野市議会議員



3) テーマ 「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

4) 内容 コーディネーターの人羅氏より、コロナ禍で、議会が開けず首長による専決処分が増えた中危機的状況においても議会を機能させるべくデジタル化による取り組みについて説明があり、全国の市議会の委員会のオンライン開催への取り組み、タブレット端末の普及状況、会議録の ICT 化の現状の説明がありコロナ禍が収束した後取り組みが後退することなく今後どのようにデジタル化を進めていくのかテーマ1として現状と課題について各パネリストの話を伺う。

岩崎氏より、議会のデジタル化の目的として3点上げられ、1つめとしてあらゆる災害時にも議会機能を十分発揮し、住民とのコミュニケーションを確保すること。2つめとして“誰も取り残されない”デジタル社会に向けて議会が果たすべき市議会のリーダーシップ。3つめとして市議会が域内のコミュニティを取りまとめる役割を果たすために必要なデジタル改革。

牧原氏より、災害時に情報収集手段としてデジタルを活用。二つ目として、AR・VR 技術を駆使した議会の運営。議員には、オンライン会議についての練習を重ねる事。議長においては、対面とは違うオンラインでの議事進行の練習をすることが大事。

湯浅氏より、問題として情報収集、意思決定、政策の根拠などが客観的なデータに基づいていない。配布文書なども政策過程はデジタルでも、配布の段階では紙などのアナログになっていることなどが上げられる。二つ目としてセキュリティの問題。オンラインセキュリティだけでなく、災害時の停電などの物理的なセキュリティも同時に考える必要がある。3つめとして、個人情報保護の問題。

寺沢氏より、長野市議会の現状報告があり1つめとして採決システムの導入、2つめとして常任委員会のインターネット中継、3つめとしてタブレット端末の導入、4つめとして議会報告会のオンライン開催、5つめとして委員会のオンライン開催の導入。9月議会で条例を改正し、12月1日より施行予定。

人羅氏より次のテーマである議会運営のデジタル化と議会と住民のコミュニケーションについて、各パネリストに先ほどの話を深掘して貰いながらの話を伺う。

岩崎氏より、民間の事例を参考として、株主総会がオンライン化やオンラインとのハイブリッド型のバーチャル開催が増え、採決も含めたオンライン化しつつある現状がある。オブザーバーとして市民が議会運営に参加できる機会や意見書や請願書をオンライン提出することを可能にすることなど。問題点として、環境を整えても市民が利活用できるのかどうか上げられる。

牧原氏より、総務省の見解として本会議での出席要件としてオンラインは認められていないが、今後の技術革新によりリアリティとバーチャルの差は縮小していく。時代に合わせた改革が必要。問題として、オンライン議会へログインする場合のセキュリティ問題。出来ることからやっていくことが大事なこと。

湯浅氏より、危機の時に強い議会にするためにデジタル化を進める。議会と住民との関係を一方公から双方向に改善していく。会議のオンラインだけでなく、非公式の議論などのオンライン化なども行っていく。

寺沢氏より、議会報告会のオンライン開催は回数を重ね改善していきたい。議会のオンライン開催は、委員会は認められているが本会議は認められていない。総務省に本会議でのオンラインの出席が出来るよう求めていく。

人羅氏より、最後のテーマである、議会のデジタル化を推進するための提言について各パネリストに話を伺う。

岩崎氏より、非接触型社会への対応、新デジタル人材育成、女性割合を増やすポジティブアクションを実現するためのデジタル化の促進、地方の経済格差・情報の格差の解消

牧原氏より、デジタルに対応する人材の育成。議長会などで、市議会です使えるアプリの開発。

湯浅氏より、1つ目として市の全体的なBCPの観点からセキュリティ上の懸念を判断すること。2つ目としてやれる所からやっていく。3つめとして新しい技術を見据えたデジタル化の導入。

寺沢氏より、1つめとして、デジタル化による多様な人材が活躍できる議会を。2つめとして、研修フォーラムを活かし、情報の共有を。3つめとしてデジタル化だけでなく、取り扱う中身も議論を。

#### 5) 講演を聞いて

タブレットPCの配布、ペーパーレス化への取り組み、委員会へのオンライン参加など当市でも既に始めている。しかし、取り組んでいない取り組みも多く聞くことができた。委員会のオンライン配信など議会として議論を重ね実現する必要を感じた。採決のデジタル化などは新庁舎建築時に導入出来るよう議論をする必要がある。今後もデジタル化の流れはあらゆる面で進んでいくと思われ、当市も先進的な議会に慣れるよう、議論を重ねて行きたい。

### 6. 第3部課題討議について

#### 1) コーディネーター 谷口 尚子

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

2) 事例報告者

金澤 克仁 鳥取市議会議長

板津 博之 可児市議会議長

林 晴信 西脇市議会議長

3) テーマ 「地方議会のデジタル化の取組報告」

4) 内容 コーディネーターの谷口氏より、デジタル化の現状と効能について、日本だけでなく世界の議会・行政のデジタル化への取り組みの現状報告があり、その後各事例報告者の話を伺う。

金澤氏より取手市議会のICTを活用した取組報告があり、タブレット導入、50回を超えるオンライン会議、オンライン議案の事前説明、市内の問題点の現場把握をオンライン視察(360度カメラの導入)、オンライン意見交換会、災害時オンラインで報告、オンライン研修に対応、ペーパーレス、会議録視覚化システムの導入など説明があり。

板津氏より、可児市議会の取組報告があり、議会報告会において完全オンライン化、議会グループウェアの導入について。

林氏より西脇市議会の取組報告があり、オンライン委員会、議場に大型モニターの導入、DX導入に当たり目的の大事さに対する話があり、ペーパーレスが目的ではなく、民意を反映させるなど議会としての機能を充実させるためのデジタル化で無くてはならない。

また、提言として、オンラインでの本会議等が可能になるように自治法の改正に対する意見書を各議会に出して貰いたい、議会主導のデジタル化への取組を、デジタル化への取組の各議会での共有出来るようにすることなどの提言が各事例報告者よりありました。

5) 講演を聞いて

各議会の報告などを聞き、当議会として取り組んでいない事例もあり、災害や感染症発生時にオンラインで議会参加できることが出来る制度作りも大事だが、台風15号の被害もあった当市では災害時にオンラインで情報を共有するシステムなどを進める必要を感じた。また、林氏からの意見としてあったデジタル化をするにあたっての目的を見誤らないことは重要なことで、市民や市にとってデジタル化することで良い方向に改善されないと意味がない。ただ形だけのデジタル化を進めるのではなく、意義のあるデジタル化に取り組んでいきたい。